

業界初！リサイクルが可能な耐火塩ビ管・継手を開発  
～ 防火区画の排水管工事のコストを縮減 ～

三菱樹脂株式会社

三菱樹脂株式会社（本社：東京都中央区、社長：吉田 宏）は、建築物の防火区画の配管に使用できる排水用硬質塩化ビニル管「ヒシパイプ耐火VP $\alpha$ ™」及び塩化ビニル継手「耐火DV $\alpha$ ™」を開発しました。現在、公的機関の認証取得に向けた準備を進めており、今冬に販売を開始する予定です。

建築基準法は、マンションなどの集合住宅や商業施設、公共施設における防火区画の壁や床を貫通する排水管には、耐火規格に適合した製品の使用を義務付けており、現在は主に耐火二層管\*<sup>1</sup>や建築排水用ライニング鋼管\*<sup>2</sup>、铸铁管などが使用されています。しかし、通常の硬質塩化ビニル管（以下、塩ビ管）に比べて、重量が重く、工事に時間と手間が掛かるなど、施工面で課題がありました。

当社が開発した「ヒシパイプ耐火VP $\alpha$ ™」は、三層構造の塩ビ管の中間層に特殊な無機物を配合することによって、火災時のパイプの残渣が貫通部を塞ぎ、火炎の延焼を防ぎます。建築基準法に基づく性能評価「防災区画等を貫通する給排水管等」の各試験条件での燃焼試験も既に行っており、その性能を確認しています。また、本製品は、通常の塩ビ管・継手と同様に、切断や接着が可能、かつ軽量であるなど、施工性に優れているため、施工費を含めたトータルコストで大幅なコスト縮減が実現できます。さらに、耐火塩ビ管・継手としては業界で初めてマテリアルリサイクルも可能な製品です。

当社は、建設会社や大手マンションディベロッパー、ハウスメーカー、工務店、設計事務所などへの積極的な営業活動を展開することで、本製品で3年後10億円の売上高を目指してまいります。なお、本製品は東京と名古屋で開催される「管工機材・設備総合展」で参考出展いたします。（詳細は次頁をご参照下さい）

※1 耐火二層管

硬質塩化ビニル管の内管に繊維モルタルの外管を被覆している配管材料

※2 建築排水用ライニング鋼管

薄肉の鋼管の内面に硬質塩化ビニル管をライニングした配管材料

【品揃え】

ヒシパイプ耐火V P  $\alpha$ ™ (長さ: 4 m) 呼び径 40 ~ 125 mm 6 品種  
耐火D V  $\alpha$ ™ (継手) 83 品種

【色調】

ライトブラウン

【管工機材・設備総合展について】

	名称	期間	場所
第42回	管工機材・設備総合展	10/20~10/22	東京都立産業貿易センター
第28回	管工機材・設備総合展	10/21~10/23	名古屋市吹上ホール



<施工イメージ図>



加熱前



⇒ 燃焼(60分間)



⇒ 中間層に配合した特殊無機物により遮熱性を確保

<燃焼試験の写真>

<本件に関するお問合せ先>

報道関係：三菱樹脂株式会社 総務部 広報室

TEL：03-3279-3800

製品に関する問い合わせ：株式会社三菱樹脂販売

TEL：03-3279-3448